

TOKYO

TAKIKAWA

東京滝川会だより

第55号

平成24年3月発行

〈事務局〉

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部産業振興課

TEL 0125-28-8009 FAX 0125-23-5839

E-mail syoukou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL http://www.city.takikawa.hokkaido.jp

新会長挨拶 毎日新聞社 特別顧問 玉置 和宏氏

このたび大川会長の後継に任命された玉置でございます。高宮会長時代に副会長についてちょうど10年になりました。そろそろお役ご免の時期と考えていたところで、思わぬ大役を仰せつかりいささか困惑と緊張とのさなかにあります。会員各位、それに地元の行政関係者などのご支援をいただき、この大役を果たしていく所存ですのでよろしくお願いを申し上げます。

昨年は全ての日本人にとって大いなる悲嘆と苦悩の年となりました。私は二度にわたり東北の被災地を視察する機会を得ましたが、新聞記者生活を入れて70年を超える私の人生でもこれほどの過酷な天災・人災事故の現実を見ることはありませんでした。でもいま希望の旗を押し出して前を向き生きていかなければなりません。

このところ日本に元気がないといわれます。私はその理由の大宗は、日本人はまづリスクをとらなくなったのではないかと考えます。安全・安心という居心地の良い場所、逆に言えば自分たちだけが良ければいいという世界に浸ることがベストだと思っているのではないのでしょうか。そうした見方を払拭するのはまずこの大震災で被害を受けた東北に、我々のエネルギーをしっかりと移すのが第一だと思います。被災地でいま一番困っているのが膨大ながれきだとすれば、滝川市は率先してその処理に汗をかいていただきたいのです。

最後になりましたが自己紹介をいたします。私の曾祖父は明治27(1894)年に50歳で和歌山県の堅田村(現白浜町)から一族郎党を引き連れて、現在の滝川市江部乙町に移住しました。私自身は滝川高校(3期)から札幌の大学に進学し、東京の新聞社に勤めました。いまは千代田区内幸町の日本プレスセンターにある総合政策研究会というシンクタンクの理事長を務めています。

東京滝川会の活動の将来は前を向くプロアクティブな会員が増えることにかかっていると思います。当面、会員の増強活動に全力を傾注するつもりですので、どうかご支援をお願いします。



新会長

たまき かずひろ 滝川高校
玉置 和宏 S32年卒

監 事		理 事													副 会 長		会 長	顧 問			名 誉 会 長	
田 島 良 子	稲 垣 邦 夫	宮 本 伸 幸	田 埜 寧	笹 川 祐 子	巻 口 道 則	前 田 博 夫	本 田 征 子	藤 澤 佳 子	中 野 鎌 太 郎	照 井 進 一	田 湯 智 康	瀬 戸 川 信 子	今 野 利 春	栗 原 茂 実	松 本 英 守	上 田 英 貴	玉 置 和 宏	渡 邊 恭 久	水 口 典 一	増 田 聰 允	前 田 康 吉	大 川 浩

新役員の皆様

東京滝川会総会を開催

東京滝川会総会が平成23年10月29日にアルカディア市ヶ谷で開催され、参加者が交流を深めました。



東京滝川会総会風景 玉置新会長より挨拶

平成22年度の事業報告と決算報告の後、一の坂同窓会解散に伴う寄附金を平成25年に控える東京滝川会設立20周年事業に向けて積み立てることなど、全ての議案が承認されました。引き続き行われた懇親会では玉置新会長や新役員より今後の意気込みが語られたほか、前田市長より滝川の近況が報告されました。余興では滝川産なたね油やオニオンソースなどの農産加工品を景品としたビンゴゲーム・抽選会も行われ、参加者は和やかに旧交を温めていました。

まちに子どもを呼び込め!!

商店街カードゲーム「マチろー」大人気

まちづくりセンター「みんくる」もオープン

昨年4月、滝川市商店街振興組合連合会は、滝川市が舞台のご当地カードゲーム「マチろー」を作製しました。カードには、商店街の店舗や公共施設等滝川市に実在する施設の情報が掲載されており、各商店等に来店した子供に無料で配布されるほか、小学校3〜4年生の社会科副読本の付録としても取り入れられています。市内各種イベントにおいて、体験会を行い、今年2月には、第一回マチろー大会が開かれるなど知名度ともに人気もできています。(平成23年3月20日発行)



「マチろー」カード

また、平成22年4月に市民活動の拠点として市が開設したまちづくりセンター「みんくる」が、まちなかの旧滝川第一パーキングビル(栄町3)へリニューアルオープンしました。料理教室や「マチろー」の大会なども開催され、市民が集う賑やかな交流の場となっています。

リニューアルオープン

滝川市役所に広々図書館

昨年11月12日に市役所2階を改装し、図書館がリニューアルオープンしました。まちなかに賑わいをつくる狙いとともにも市民の利便性向上も目指します。開架図書も3万5千から6万冊に増え、目当ての本を探す検索用端末を導入したほか、閲覧席も140席に増え、18席の学習机も新設、開館時間が2時間延びて午後7時までとなり、買い物や通院帰りに立ち寄る利用者も増え、移転前に比べ来館者は2.7倍になりました。

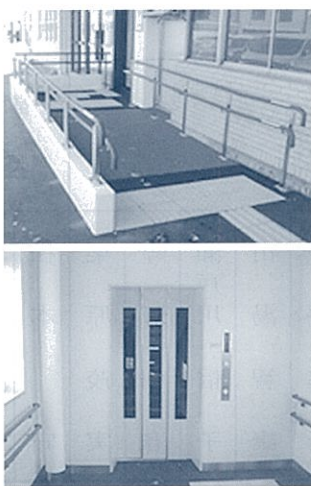
また、國學院大學北海道短期大学部図書館と蔵書の相互利用に関する協定を結び、市図書館の窓口から同短大図書館の蔵書を借りることが可能となり、幅広い学習機能を果たしています。



滝川駅バリアフリー化

エレベーター・車いす対応型トイレ完備

昨年12月8日、総事業費2億8千万円のJR滝川駅バリアフリー化事業が完了し、使用が開始されました。市や商工会議所が市内企業団体等に寄付をつのり完成させた設備は、改札内エレベーター(11人乗り)3基、スロープ2か所、車いす対応型トイレ1か所、触知図新設(音声案内装置付き)1か所に及びます。



札幌行きのホームには商工会議所と滝川ロータリークラブが贈呈した待合風除所が設置されたほか、JAB北海道信連よりAED(自動体外式除細動器)が贈られるなど、高齢者や障がい者だけでなく、滝川市に通う多くの学生や買い物客、遠方からの旅行者や子育て世代の人にも優しい駅の誕生となりました。

大盛況!! たきかわ冬まつり&ランターンフェスティバル

今年2月18・19日、毎年恒例「たきかわ冬まつり」と、18日夜にはランターンフェスティバルが開催されました。開催日前後は大吹雪でしたが、当日2日間だけ風もなく晴れ、気温もグッと下がり真冬を実感できる好天に恵まれたこともあり、両イベントとも入込数6千人と、大盛況に終わりました。



手作りランターンでつくる光の道
自分で作ったランターンを探すのも醍醐味の1つ

市内の学校や企業、友好親善都市の沖縄県名護市の子どもたちが事前に手作りした1万個を超えるランターンは、JR滝川駅前や商店街などに並べられ、その幻想的な光で多くの市民や観光客を魅了していました。

滝川市の名物になることを願って…新商品開発

2月、たきかわ冬まつり内での提供を皮切りに、滝川地産地消ふるさとづくり協議会（事務局 市産業振興課内）が、たきかわ産食材の普及と地産地消の推進を目的として開発した「SPF（そらふちファイト）ソーセージ」の提供を始めました。

滝川で生まれ育ったSPF豚を使用し、新十津川町の「ヴルストよしだ」に製造協力を依頼。濃いめの味付けが特徴で、茹でてでも焼いてもパリッとジューシーな肉の旨みが好評です。商品パッケージにはそらふちキッズキャンペーンのキャラクターを使用し、同キャンペーンのPRも兼ねています。

現在イベントや物産展のみでの限定販売となっていますが、持続的なPRを進め、滝川市の名物や観光素材となることが期待されています。

そらふちファイト

SPFソーセージ発売!!



4回目の来滝「滝川、なつかしい気持ちに」

昨年10月8日横綱白鵬関が4回目の来滝を果たしました。市内で様々な行事をとおし市民らとふれあい、9日は、高品質のJAたきかわ産米「ななつぼし」をブランド化した「白鵬米」の発表記者会見が、滝川市観光大使横綱白鵬関らが出席し滝川ふれ愛の里で行われました。自ら田植えと収穫を経験した白鵬関は、炊きたての白鵬米を味わい「粘りがあって本当においしい。全国の皆さんに食べて頂ければ」と同日から販売が始まったお米をPR。



白鵬米は収穫した約10トが商品化され、2合入りのミニ米俵と、5キロ袋が発売されました。同時開催された収穫祭ではトークショーや餅まきなどで市民との交流を深めたほか、江部乙町のリンゴ農園なども見学し「滝川に来るとなつかしい気持ちになる」と第二のふるさとを楽しんでいました。

白鵬米食べ強いカマに! 「白鵬米」相撲教習所へ120キロ

2月8日、滝川市とJAたきかわは入門してから間もない新弟子が通う両国国技館内の相撲教習所に白鵬米120キロを寄贈し、同月から東京日本橋の三越本店などでも発売を開始しました。この日、相撲教習所を訪れた白鵬関は「これからの力士に食べてもらって強くなってもらいたい」と教習生10人に米を手渡し、全員と握手しエールを送りました。将来的には北海道に近い気候の母国モンゴルでの稲作普及を目指しています。

横浜高島屋で滝川食材PR

白鵬関と滝川産グルメを楽しむ

2月9日、神奈川県横浜高島屋で白鵬関とともに白鵬米や滝川産食材を楽しむ夕食会が開かれました。高島屋が「横綱と一緒に楽しめるイベント」と企画し、中村孝明氏が調理した様々な滝川グルメに舌鼓を打ちながら、白鵬関とともに語らう場となりました。吉井副市長も参加し滝川の魅力をPRしました。白鵬関との縁をとおし、豊かな食の発信地である滝川市を大いにアピールした夜となりました。

道内初の公募副市長 決定

元商社マン

すずき こういち

鈴木 光一氏 (62)

『営業部長の思いで走り回る』

道内初の公募副市長として、鈴木光一氏（62）が3月7日市議会で滝川市の2人目の副市長に選任されました。鈴木氏は市議会議場で「期待されている経済活性化と産業振興以外の分野でも、幅広い仕事で力を尽くしたい。」と挨拶し、拍手を浴びました。

昨年11月から公募し、125人の応募者の中から選出された鈴木氏は、三井物産の本店業務部次長や関連会社取締役などを歴任したほか公立高校の公募校長やNPO法人事務局長など多彩な経歴を持ち、選任後の記者会見では「新しい場所での仕事に、わくわくしている。営業本部長という思いで走り回る」と意気込みを語りました。前田康吉市長も「4月から即戦力になる。豊富な人脈と経験を生かし市の経済活性化、市役所改革を」と期待を寄せました。会見では、校長として5年間教育に携わった経験から、市立の中高一

貫校の可能性等も語ったほか、副市長に応募するまでは知らなかった滝川について、「まちを歩き、人に会い、勉強して、いろいろ知りたい。」と語り、企業誘致のほか、産業振興に直結する農業分野についても強い関心を見せています。

副市長の公募は昨年4月に当選した前田市長の公約でもあり、副市長の任期は4月1日から4年間です。



鈴木 光一 副市長

すずき こういち
鈴木 光一 (62)

出身 東京都
現住所 埼玉県さいたま市
学歴 早稲田大学政治経済学部卒業
職歴 三井物産株式会社 本店業務部次長
日本ユニコム株式会社
取締役経営企画室長
三重県立宇治山田商業高等学校校長
NPO 法人ジャパン・プラットフォーム
事務局長

國學院大學2年連続シード権獲得

第88回箱根駅伝、総合10位

滝川市に短期大学部がある國學院大學が1月2日、3日に行われた第88回箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）に出場しました。往路9位・復路12位で襷をつなぎ、総合10位でゴール、2年連続シード権獲得となりました。昨年コースを間違えるというドラマを作った寺田さんも5区で大活躍。國學院大學の今後の活躍にますます期待が高まります。

さっぽろ滝川会懇親会開催

第6回さっぽろ滝川会が札幌市中央区のホテルライフォートで2月24日に開かれました。元道副知事で会長団の林陽さんは「豪雪で空き家倒壊が問題となっているが、滝川市は4月から空き家条例が施行される。住みよいまちづくりに向けて素晴らしい取り組み」とたたえました。

同会では地元物産が当たる抽選会や物産即売コーナーなども設けられ、来場者はなつかしい故郷を話題に杯を交わしていました。

新規会員募集中

東京滝川会では新規会員を随時募集しています。

首都圏在住で滝川市に関わりのある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

【事務局】

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部産業振興課

Tel: 0125-28-8009

Fax: 0125-23-5839

E-mail: syoukou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL: <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>



さっぽろ滝川会懇親会風景